

■事業名

子どもの健康づくり推進事業

■事業目的

安心して妊娠・出産・子育てができる地域づくりを目指し、子育てに関する情報不足という課題を解決する。

■活動経過・内容

【実施主体】 栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会

【内 容】 栃尾で楽しく安心して子育てができるよう、子育てに関する講演会を開催するとともに、栃尾地域内の子育てに関する相談窓口や医療機関などを地図に落とし「とちお子育てマップ」を作成し、支所の窓口などで配布した。

講演会日時：平成 29 年 7 月 22 日（土） 午前 10 時～11 時 30 分

演奏会会場：栃尾市民会館 大ホール

講 師：子育てアドバイザー 幸島 美智子氏

講演テーマ：「パパママは子どもの成長ナビ」

来 場 者：約 70 人

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・子育て講演会では、子育てにおける具体的なアドバイスを聞くことができ、参加者から大変好評だった。
- ・子育てに関する相談窓口や栃尾地域内の医療機関などを地図で紹介する子育てマップは、転入手続きや出生手続きの際に配付することで、子育て世代の安心につながると期待される。

■今後の課題や、事業の拡大

- ・子育て講演会は好評であったが、参加者が少なく、アンケートでも「もったいない」という意見があったため、今後はPTAとの共催でブロック研修会として開催する方向で検討していく。
- ・子育て中の親からは、ほかの人はどうしているのか、どう考えているのかを知りたいという声があるため、意見交換の場を設けることも検討する。



平成 29 年度長岡市ふるさと創生基金事業活動報告書 栃尾支所

■事業名

栃尾地域の中学校校歌保存事業

■事業目的

校歌に謳われている地域の誇りや理念などを再認識し、同窓会などの各種会合等で歌い継いぐことにより、世代を越えた地域の絆を深める。

■活動経過・内容

【実施主体】 栃尾地域の中学校校歌を保存する会

【内 容】 平成元年の中学校統廃合により閉校した7つの中学校（栃尾、下塩谷、上塩、東谷、荷頃、南、半蔵金）の校歌を掘り起こして昨年開催した「とちお思い出の校歌演奏会」の録音を元に、当時の校舎や学校生活の写真などとともに校歌を収めたDVDを作成し、栃尾地域図書館などで貸出しを開始した。また、収集した写真を展示して「懐かしのパネル展」を栃尾美術館で開催した。

パネル展日時：平成 29 年 8 月 15 日（火）～8 月 27 日（日）

パネル展会場：栃尾美術館 1 階 ギャラリー

来 場 者：約 1300 人

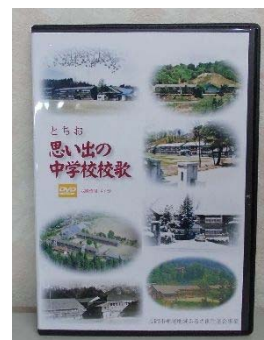
■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・当時の校舎や学校生活の写真や、卒業写真などとともに平成元年閉校の7中学校の校歌をDVDに収め残すことができた。
- ・作成したDVDは高齢者の集まりなどで活用され、喜ばれている。
- ・8月の帰省時期に合わせて美術館でパネル展を実施したことで、美術館の企画展の入場者も増え、相乗効果が見られた。

■今後の課題や、事業の拡大

小学校や平成元年より前に閉校した中学校についても、掘り起こしてもらいたいという声をいただいた。

掘り起こしには多大な労力を要するため、さらなる掘り起こしに向けた準備として、楽譜の保存などできる範囲の活動を継続する。



平成 29 年度長岡市ふるさと創生基金事業活動報告書 柘尾支所

■事業名

地域の宝ブラッシュアップ事業

■事業目的

石峠の山城遺構など、入東谷地域にある地域資源を観光資源としてブラッシュアップし、交流人口の拡大につなげる。

■活動経過・内容

【実施主体】 入東谷活性化プロジェクト

【内 容】 旧石峠街道をイベントに活用できるよう、草を刈ったり雑木を伐採したりして人が歩いて通れるように整備した。また、地元住民を対象とした山城遺構についての勉強会（座学）を行ったほか、観光ガイドクラブの会員などにも参加を呼び掛け、現地での勉強会を行った。

整備作業：平成 29 年 6 月 2 日（金）～4 日（日）

平成 29 年 11 月 3 日（金）・5 日（日）

勉強会：平成 29 年 7 月 29 日（土） 座学 60 人参加

平成 29 年 9 月 9 日（土） 現地 24 人参加

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・旧石峠街道を松尾から石峠の由来となった大石のあるところまで整備し、数年ぶりに街道がよみがえった。
- ・地元住民を中心に峠道を実際に歩き、峠で山城遺構についての勉強会を開催したことで、旧石峠街道が地域の宝として再認識され、今後の事業実施に向けた気運が高まった。
- ・目標に向かって集落間の連携と協力で事業が進められたことによって、入東谷地域全体の活性化に向けて連帯感が強まった。

■今後の課題や、事業の拡大

- ・事業の継続に向け、地域住民の意識高揚と体制づくりが必要。
- ・整備した峠道を歩くツアーを実施していく。
- ・今後は山城ファンを呼び込むための松尾城跡の整備や、旧石峠街道全体の再生のための魚沼市との連携も模索していきたい。



平成 29 年度長岡市ふるさと創生基金事業活動報告書 栃尾支所

■事業名

婚活支援事業

■事業目的

未婚の男女に出会いと交流の場を提供することで婚姻数の増加を図り、人口減少と少子化に歯止めをかける。また、同時に栃尾の魅力を発信することで、栃尾地域への定住人口を確保する。

■活動経過・内容

【実施主体】 一般社団法人 栃尾青年会議所

【日 時】 平成 29 年 11 月 3 日（金・祝） 午前 10 時 30 分～午後 3 時 15 分

【会 場】 栃尾産業交流センター

【内 容】 栃尾地域の男性と、栃尾地域内外の女性を対象とした「とちコン 2017
～栃尾野菜で作る幸せレシピ～」の開催

司 会＝森下英矢氏 クッキング講師＝木村正晃氏

【参加人数】 男性 19 人 女性 18 人

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・ 3 組のカップルが成立した。
- ・ 共同で調理に取り組むことによって自然なコミュニケーションが生まれ、参加者同士の交流が深まった。
- ・ クッキングに栃尾の食材を使ったことで、栃尾の食の魅力を発信する機会となった。

■今後の課題や、事業の拡大

- ・ 応募のきっかけについては口コミの割合が依然大きいため、チラシの配布先の検討や各種メディアの利用検討を引き続き行っていく必要がある。また、内容で惹きつけることができるよう、事業の磨き上げも必要。
- ・ 自然なコミュニケーションが生まれるような仕掛けを工夫することによって参加者同士の交流が深まり、カップル成立数の増加につながると考えられる。
- ・ 定住人口の確保に向け、地域内の他団体と連携し、事業の結果結婚に至ったカップルに栃尾への定住を促すような仕組みの検討が必要。



平成 29 年度長岡市ふるさと創生基金事業活動報告書 栃尾支所

■事業名

地域と若者との交流促進事業

■事業目的

地域の将来を担う高校生に地域への愛着を深めてもらうとともに、地域住民にも地元栃尾高校の活動に対する理解を深めてもらうため、栃尾高校生と地域住民との交流を促進することを目的とする。

■活動経過・内容

【委 託 先】 NKS・TRC共同事業体

【内 容】 栃尾高校生の企画運営により、書道パフォーマンスや体験型模擬店などのいわゆる出張文化祭、「来て！見て！作って！体験フェスティバル 2017」を開催した。

日 時：平成 29 年 8 月 10 日（木） 午後 1 時～4 時

会 場：栃尾文化センター

来場者数：一般来場者 延べ約 300 人 栃尾高校生及び先生 74 人

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・高校の文化祭は学校で行われるため一般の人が足を運ぶことはあまりないが、今回のイベントはまちなかの公共施設で実施したことによって多くの人が足を運び、栃尾高校の地域における活動を知ってもらう機会となった。
- ・市内外からの参加者にイベントを楽しんでもらうことができ、携わった栃尾高校生からは大変だったけれどもやりがいがあり楽しかったという感想が聞かれ、生徒の成長にもつながった。

■今後の課題や、事業の拡大

- ・来場者は夏休み中の子どもたちが中心だったが、より多くの人に来場してもらえるよう、内容や広報活動に力を入れていく。



平成 29 年度長岡市ふるさと創生基金事業活動報告書 栃尾支所

■事業名

栃尾の未来育成事業

■事業目的

栃尾の未来を担う子どもたちを中心に誰でも楽しめるコンサートを開催し、豊かな感性を育てることを目的とする。

中でも、夢や目標を持ち、全盲という障害がありながらシンガーソングライターとして活躍している少女の歌とピアノに触れることによって、がんばることの素晴らしさを感じてもらおう。

■活動経過・内容

【実施主体】 まちなかキャンパス長岡栃尾分校実行委員会

【内 容】 「佐藤ひらり&すいかのたねコンサート」の開催 ※入場無料

出演者：

佐藤ひらり（三条市出身。生まれつき全盲のシンガーソングライター）

すいかのたね（市内を中心に県内各地でパネルシアターと歌・ピアノ・エレクトーンによるコンサート活動を行っている4人のグループ）

日 時：平成 29 年 9 月 16 日（土） 午後 1 時～3 時 30 分

会 場：栃尾産業交流センター

来場者：約 320 人

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・大人から子どもまで、多くの人がユーモアと感動あふれるステージを楽しんだ。
- ・障害がありながらも夢に向かってがんばる姿に多くの来場者が感動した。
- ・アンケートには「家族にも聞かせたい」「またやってもらいたい」など開催を喜ぶ声が多かった。

■今後の課題や、事業の拡大

- ・栃尾では本格的なコンサートを聴く機会が少ないため、今後もこのような企画で、豊かな感性を育む機会を確保していきたい。



平成 29 年度長岡市ふるさと創生基金事業活動報告書 栃尾支所

■事業名

秋葉神社を中心とした観光事業

■事業目的

秋葉神社を中心とした明かりのイベントを天候によらず実施することができるよう、雨天対策を施して開催することにより継続事業として定着させ、さらなる交流人口の増加を図る。

■活動経過・内容

【実施主体】 栃尾地域活性化委員会

【内 容】 栃尾にあるパワースポットを巡るトレッキングイベント「修行道 48 km」と秋葉神社及び参道に灯りを灯す「秋葉百八風鈴灯」を実施した。

①修行道 48 km

日時：平成 29 年 10 月 14 日（土） 午前 8 時～午後 6 時

コース：岩野蔵王堂→小貫・羽黒神社→土ヶ谷・延命地藏→城山→栃尾表町・諏訪神社→栃尾大野・將軍地藏→北荷頃・曹源寺→中・東照寺→木山沢・薬師→上来伝・菅原神社→下来伝・ほだれ大神→栃堀・貴渡神社→同・静御前の墓→菅畑・岩倉庵→上檜出・音子神社→栃尾原町・善昌寺→上の原町・穴守神社岩野蔵王堂→秋葉神社 参加者：6 人

②秋葉百八風鈴灯

日時：平成 29 年 10 月 14 日（土）、15（日） 午後 5 時～9 時

会場：秋葉公園 来場者数：延べ約 10,200 人

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・ 保育園児、小・中・高校生によるランプ制作を仕掛けることで、全市的な催しとなった。
- ・ 雨をしのぎながら多様な展示が可能となるよう、組み合わせ自在な灯ろうのパーツを制作したことで、雨天時でも開催できるようになった。
- ・ とちお夜のランプ祭り及び秋葉門前ナイトマルシェと同日開催したことによって昨年度より集客数が伸び、マルシェの売り上げにも貢献した。
- ・ 長岡造形大学の学生による展示を行ったことで、下見や翌年の準備などのため地域外から栃尾を訪れる若者が増えた。

■今後の課題や、事業の拡大

とちお夜のランプ祭り同様、継続的な実施に向けて自立運営のための体制づくりが必要。



平成 29 年度長岡市ふるさと創生基金事業活動報告書 栃尾支所

■事業名

映像、イベントを通じた栃尾の魅力発信事業

■事業目的

体験動画で情報発信するとともに、興味を持った人が栃尾を訪れるきっかけになるような小規模イベントを定期的で開催し、大きなイベントのときだけでなく、普段から栃尾を訪れる人を増やす。

■活動経過・内容

【実施主体】 とちラボ

【内 容】 小規模イベントを通年で開催した。また、栃尾の魅力を紹介する動画を 4 本制作し、YouTube で公開した。

イベント：

①オープンマイク 平成 29 年 4 月 23 日（日） 午後 1 時～5 時

会場 ヒロチュウ 参加者 約 30 人

②餃子づくりワークショップ 平成 29 年 6 月 25 日（日） 午後 2 時～5 時

会場 ヒロチュウ 参加者 19 人

③オープンマイク 平成 29 年 7 月 23 日（日） 午後 6 時～8 時

会場 ヒロチュウ 参加者 約 40 人

④空き家バンクセミナー 平成 29 年 11 月 26 日（日） 午後 1 時～3 時

会場 とちパル 参加者 12 人

⑤トチオノアカリ写真展 平成 30 年 2 月 17 日（土）～25 日（日）

会場 よってげ場 来場者 延べ約 110 人

動 画：あぶらげ収集編、栃尾スゴロクまちあるき、雪解栃尾、空から見た
栃尾の雪景色

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・とちラボ以外の企画によるイベントを実施したことで、ネットワークを広げることができた。また、オープンマイクには遠くは北海道の方も出演するなど予想以上の広がりがあった。
- ・制作した動画は市外に住む出身者に好評で、「行きたくなった」などの感想が寄せられた。

■今後の課題や、事業の拡大

- ・より多くの人に動画を見てもらえるよう、関係団体のホームページへのリンク貼り付けなどの働きかけや広報活動を行っていく。
- ・大きなイベント以外でも、「行ってみたいくなる」イベントを提供していく。